

令和6年度 第4回いなべ市総合計画審議会 会議録

会議名	令和6年度 第4回いなべ市総合計画審議会
開催日時	令和6年10月3日(木) 14:00~16:00
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室2, 3, 4
出席者	<p>【委員】17名 丸山康人(会長)、林伸一(副会長)、佐々木文昭、田中佳奈、嶋田義光、服部純子、東海林玲子、福本美津子、一木尚子、小林久里子、位田あけみ、高木修司、山本たか代、伊藤和雄、伊藤六榮、伊藤章子、近藤雄司 欠席 中村弘樹、相田直隆、三輪孝</p> <p>【事務局】19名 山下正史(副市長)、近藤栄人(総務部長)、大川洋海(都市整備部長)、伊藤ひろ(市民部長)、岩田長司(環境部長)、岡真水(福祉部長)、出口美紀(健康こども部長)、若松辰彦(農林商工部長)、太田東洋(建設部長)、寺本靖彦(水道部長)、伊藤功(教育部長)、三好宏尚(会計管理者)、市川久春(議会事務局長)、中村政紀(監査委員事務局長)、出口和典(企画部長)、小谷直仁(政策課長)、児玉吏(政策課)、堀田彰宏(政策課)、西尾みずき(政策課)</p> <p>【オブザーバー】小林直樹(㈱ジャパンインターナショナル総合研究所)</p>
会議次第	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 説明及び審議事項 (1) いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて…資料1 (2) 第3次いなべ市総合計画基本構想の体系(案)と骨子(章立て)(案) …資料2 (3) 基本構想について…資料3 4. 次回の会議について 5. 閉会</p>
配布資料	<p>資料1…第3次いなべ市総合計画基本構想策定スケジュール 資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想の体系(案)と骨子(章立て)(案) 資料3…第3次いなべ市総合計画基本構想(案)(第1章~第4章)</p>
公開、非公開の別	公開
議事概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ 【丸山会長】 ・本日は基本構想の前半部分になります。まずは、3. 説明及び審議事項の(1)いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについてです。毎回、今回はどこを議論するのかを共有するた</p>

めに行っていますので、よろしくお願いいたします。

3. 説明及び審議事項

(1) いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて

【事務局】

- ・資料1…第3次いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて説明。

【丸山会長】

- ・それでは、続いて資料2、第3次いなべ市総合計画基本構想の体系（案）と骨子（章立て）（案）について説明をお願いします。

(2) 第3次いなべ市総合計画基本構想の体系（案）と骨子（章立て）（案）

【事務局】

- ・資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想の体系（案）と骨子（章立て）（案）について説明

【丸山会長】

- ・今、説明いただいたように、今回は、基本構想の1章から4章にわたって審議したいということです。それでは次に進みます。資料3の第3次いなべ市総合計画基本構想（案）に基づいて進めていきますが、私から事前に注文をしておりまして、新市ができてから20年、今回の総合計画が3回目になりますので、今までよりもきちんと1回目、2回目の歴史の部分を理解できるようにしないとイケないだろうということで、その点も追記していただきました。事務局には急遽ご対応いただいたので、市の職員の方々は、自分の担当した部分に関して、この20年間、携わってきた中で、こういう部分が足りない、こういう表現の方がよいということがあれば、次回までもよいのでご意見を出していただき、修正していければと思います。それでは、(3)基本構想について、事務協より説明をお願いします。

(3) 基本構想について

【事務局】

- ・資料3…第3次いなべ市総合計画基本構想（案）について、第1章、第2章部分まで説明

【丸山会長】

- ・私が事前にお願した歴史の部分もございますので、まだ完成とはいかないかもしれませんが、繰り返しになりますが、各部署で次回までに確認していただいて、確定できればと思います。これから10年間の市政、行政のバイブルとなりますのでよろしくお願いいたします。何かあれば、ご意見をいただき、なければ先に進んでいくというような形にしたいと思いますがいかがでしょうか。

【委員】

- ・いわゆる地方創生で、投資的に取り組み、仕組等を作り上げてきたということで、今後10年の計画の中で、その投資が活かされ、市民のいなべ市に対する誇りの醸成ができてくることを期待する、そういう方向性だと受け止めましたが、よろしいですか。

【事務局】

- ・政権が変わり、国の方で、地方創生交付金を倍にしていくといった話題も出ておりますように、何もやらない市には何もなければ、やる市にはどんどんとお金をつけようという流れがあります。中高生調査のいなべ市の魅力では、「にぎわいの森」が第1位と認知度が上がっており、誇り愛着という形で現れてきています。今後も、地方創生交付金等を活用しながら、そういったものを順次、磨き上げながら、いなべ市を魅力あるまちにしていきたいと思えます。

【丸山会長】

- ・今回の計画では、これまでの20年間を振り返ってこういう形で整理をし、更なる地方創生にも対応しながらいなべ市を充実させていくということだと思えます。それでは、次（3章、4章）をお願いします。

【事務局】

- ・資料3…第3次いなべ市総合計画基本構想（案）について、第3章、第4章を説明。

【丸山会長】

- ・ありがとうございました。それでは、全体の感想でも、個別のご指摘、ご質問でも結構ですので、ご意見ををお願いします。

【委員】

- ・アンケートでは、いなべ市をこれから担ってくれる中高生が、住んでみたいという回答が多く、幸福度も高く、非常に胸が熱くなるような感じがしました。自己肯定感といいますか、家族の愛情に恵まれている方は、自分と他の人たちも大切に生きる、最近言われている非認知能力の育成が、これからどんどんアップすればいいなと思えます。難しい言葉が時々でてきますので、子どもや高齢の皆様にも、もう少し詳しくわかりやすく、親切に書いてもらえればと思います。私は、青少年の育成支援をしていますが、小さい時の体験は一生の宝物になります。放課後子ども教室等を通して、本当にいろんなことを体験して、今の子どもたちがそういう体験をして大きくなって、いなべ市を支えてくれるといいなと思えます。それから、フェアトレードの取組を数人の方と立ち上げた者として反省といいますか、18ページの3番目、近年のいなべ市の取組のフェアトレードタウンの認知度で非常に寂しい結果が出ています。私たちも、フェアトレードタウンになるまでに、いろいろな所に研修に行ったりしました。皆さんにもわかっていただけということなので、放課後子ども教室で、バレンタインデーの前日あたりに、フェアトレードのチョコレートを使って皆にプレゼントをしましょうという教室をしており、子どもたちも少しずつわかってきてくれているのではないかと思います。最後になりますが、「好き」が、あふれる。『わたしのまち いなべ』になればいいなと思えます。

【丸山会長】

- ・ありがとうございました。行政用語もカタカナ言葉が増えています。子どもや高齢者等、誰が読んでもわかりやすいように、注釈をつけるなどして整理して下さい。他にご意見はありますか。

【委員】

- ・23、24 ページで、まちづくりの基本方針を説明いただきました。ここで掲げている理念は市外にも発信してくわけですね。それで言えば、24 ページですけれども、まちづくりの将来像案の中程の文章で、「グリーンクリエイティブの取組を通じて、本市の豊かな自然、里山、農産品等の地域資源を発掘し、都会的なセンスで磨き上げ」云々という文章があります。そして空欄があり、その下の「第3次となる」からの文章の3行目に、「いなべ市らしく地域資源を徹底的に活かし、市内の人々を惹きつける」云々とあります。前に述べた「地域資源を発掘し、都会的なセンスで」という文章と、後の「いなべ市らしく地域資源を徹底的に活かし」という文章が矛盾するように感じます。後の方はいなべ市らしく徹底的に活かしていくと述べているのですが、前半の文章では、いなべ市にある地域資源をいなべ市のセンスではなくて都会的なセンスでやるとなっています。また、その都会的なセンスで磨き上げるという言葉自体も、都会的なセンスが素晴らしいものだという概念で述べられており、多様性、ダイバーシティという視点から、必ずしも都会的なセンスがベストなものであるのかどうかと思いますがいかがでしょうか。

【企画部長】

- ・第2次総合計画の計画期間中においては、こうした形でグリーンクリエイティブいなべの取組を進めてきたということで、都会のものが全ていいということではないのですが、外からの目線を入れて、いなべ市を見直すというような意味合いで捉えていただければと思います。そういうものをベースに、引き続き今後の10年を進めていければという意味合いでの文脈となっています。

【事務局】

- ・第2次総合計画期間中、グリーンクリエイティブいなべを進めるにあたり、関係人口を増やす、観光客として来ていただくという意味合いもあり、都会的な人も魅了するようなものを作りたいということで都会的なセンスという言葉が作られたのだと思います。そういった一面もありつつ、今回のいなべ市らしくという文章は、地域の皆様にもそれをもっと感じていただけるよう、にぎわいの森がいなべ市の魅力の上位10以内に入っているように、そういったものをもっと感じていただけるいなべ市にしたいということで、いなべらしくという言葉になっています。

【丸山会長】

- ・都会的な感覚も含めて交流人口を増やしていこうということで、これまで進めてきたということです。ご理解をいただきたいと思います。

【委員】

- ・24 ページですが、変更可能ということであればですが、一つの文章がすごく長いと感じたので、一段落で一文という箇所があり、内容がぼやけるというか、何を言いたいかわかりにくいと感じたので、もし、変更していただけるのであれば対応をお願いします。

【丸山会長】

- ・今、ご指摘の通り、文章が長い箇所については、文脈が変わらないように、修正の対応をお願いします。

【委員】

- ・私が聞き漏らして理解できてないのだけかもしれませんが、24 ページの下の方に、「今後は、本計画の目標年次である」という箇所の、下から6行目ぐらいのところから、「小学生が思い描いた10年後の幸せを胸に刻みながら」とあるのですが、前段のアンケート結果で、小学生が思い描く10年後の幸せという部分の具体的な表現が足りていない感じがするのですが、いかがでしょうか。

【事務局】

- ・委員のご指摘の通り、小学生の幸せについては、さらに具体的な調査結果の内容を追加した方がわかりやすいと思いますので、次回に向けて検討させていただきます。

【丸山会長】

- ・小学生調査結果の部分が抽象的すぎるということで、小学生がどういう思いをもっているのかわかるように修正をお願いします。

【委員】

- ・同じく24 ページですが、「市外から本市に関わる関係人口の人々」という所で、いなべ市外からいなべ市に関わってもらっている人たちのことだと思うのですが、少しわかりにくいと感じました。また、すべての世代の多様ないなべ市の人々と、外から来てくださって、いなべ市に関わる人たちに、いなべ市に誇りを持ってもらうという部分の表現が、ぱっと読んだときに少しわかりにくいのかなと感じました。小学生が思い描いた10年後の幸せを胸に刻みながらということも、もちろん大事なことです。中高生やすべての人たちが、アンケートの中で、不便だなと思うところがやはり交通の便で、車を運転してあちこち行ける人はよいのですが、子どもたちや高齢の方々の交通の便というところをよくしていただきたいと感じています。

【事務局】

- ・24 ページの、すべての世代の多様ないなべ市の人々と、関係人口の人たちに、いなべ市に誇りを持ってもらうという部分の表現は、わかりにくいと思いますので、考えさせていただきます。公共交通についてのご指摘ですが、今回のアンケート結果の自由記述や、別の計画ですが定住自立圏、子どもの計画等の中でも多くの意見があげられています。すべてのご意見に対応するというわけにはいかないですが、限られた財源の中で、全庁的に選択と集中を行いながら、対応していきます。将来像のページに記載することは難しいですが、今後、来年度に基本計画を策定する中で、皆様と検討させていただければと思っています。

【委員】

- ・子どもたちもすごくいなべ市に期待して、希望を持っています。計画の中身の文章が難しいので、何か中高生、小学生でも理解できるような、漫画やイラスト等のわかりやすいものがあるとよいかと思いました。

【丸山会長】

- ・まず1つ目の関係人口の件は、いなべ市に住む人達が誇りと愛着をもつことを強調して、それを見て関係人口の人たちもいなべ市はよいまちだと感じていくということだと思います。公共交通については、新たにつくるということは難しいわけなので、バスの利用方法等、どういうやり方があるのか、今後、基本計画や個別計画の中で具体的にできることを検討するという事になります。

【委員】

- ・私も高齢者になったら免許を返納したいと思うのですが、返納すると、行動範囲が限られてしまうので、コミュニティバスのようなものが充実することを希望します。現在は無料ですが、財源がないのであれば、負担にならない範囲で数百円等、有料でもよいと思いますので、本数を増やすなどもっと利用できるようにしてほしいと思います。私も、もう少しすると免許を返納しなければならないので、切実な問題として思いました。私は、民生委員をしています、この間、小学生を対象に、民生委員のアピールをしようということで、本当にわかりやすく、普段こんなことしてるんだよというのを寸劇のようにしてお伝えしました。県でも、民生委員のパンフレットで、大人用と子ども用とがあったりするので、それもいいなと思ったので、よろしくをお願いします。

【丸山会長】

- ・高齢化はもちろん、子どもたちがいなべ市に残る、戻って来るといふ点においても公共交通は重要な課題です。計画をわかりやすく伝えるという件については、予算のこともあるので、この場でやって下さいとは言えませんが、検討して下さい。

【事務局】

- ・公共交通の課題を明確にしていくということで、今後の基本計画も含めて検討していきます。子ども用のわかりやすい冊子の件は、第2次総合計画で、中学生用のA4、8ページの薄い冊子を作っておりまして、今回も、同様に作成し、中学校に配布する予算を確保しております。また、他市においては、かなりの厚みのある計画書が多く作られておりますが、いなべ市では、職員が教科書のように見られるようにということで、A5サイズになっています。ただ、職員向けすぎるところもありまして、もう少しやわらかい表現にできればと思っておりますので、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

【丸山会長】

- ・他にご意見はありますか。

【委員】

- ・先ほどのご意見にも通じる場所ですが、24ページの小学生が思い描いた10年後の幸せという場所ですが、先ほども補足を加えていただけたということでしたが、若い子たちの思いをしっかりと受けて、いなべ市をつくっていきますよということを述べたかったのだと思うのですが、例えば、17ページにプロ野球選手とか、YouTuberとか、やさしいとか、お金持ちといった内容が掲載されていますが、こういったものを踏まえて、思いを胸に刻むとなると、ちょっともったいないかなと感じます。いろんな方にアンケートをしていますので、全体の思いを受けて、という表現の方が誤解を招きにくいと思いましたが、ご意見として述べさせて

いただきました。

【事務局】

- ・おっしゃる通り、全体の皆さんという表現の方が将来像としての内容としてはよいかと思いますので、次回までに、検討させていただきます。

【委員】

- ・我が家には、中学生が1人と小学生が2人おりまして、昨日、今回の資料を子どもたちと見ていたのですが、子どもたちは理解しにくい様子でした。今回、中学生用の冊子も作っていただけるとのことなのでよかったです。それから、17ページの図がすごくわかりやすかったですと思います。また、10年後、どうなっていたいかということは、小学生にとってはすごく難しいなと思いました。中学校も3年で終わってしまうし、10年後よりも、今すぐどうにかして欲しいということもあるようです。17ページの図で、サッカー選手、プロ野球選手等が書かれているのですが、今、いなべ市内のクラブにサッカーと野球はありません。多分、今から地域移行に持っていくんでしょうけれど、うちの子は中学年の3年生なので、入りたいクラブがありません。交通のことにしても、市内で交通が整備できたら、合同クラブが実施できるのではないかと、1か所に集まってクラブ活動もできるのではないかなと思います。あと、保護者の方の意見で、交通が整備されていないため、休日の送迎、子どもの送迎が結構負担になっているという声を聞かせていただいています。

【丸山会長】

- ・ありがとうございます。今後の具体的な施策の中で話すことになると思いますが、全国的にクラブ活動の地域移行も進められており、そこから公共交通の課題にもつながっていくということで、検討を進めていってもらいたいと思います。

【委員】

- ・2点あります。1点目は、高校生のアンケートの回答率が非常に低かったことで、今回、それを計画の中で高校生の結果として入れてもらっていますが、信頼性に少し疑問を持ちました。でも、結果として、この人数しか回答を得ることができなかつたので、今回は、それを使っただいてよいかと思うのですが、次回は、前回の会議でもお話がありましたが、もう少しアンケートの信頼性を高めるように配慮していただくとよいかと思います。それから2点目ですが、「好き」が、あふれる、という言葉がとても好きで、私もいなべ市のどこが好きかと言われたら、自然がいっぱいあるということしか言えませんが、何かもっと、文化や伝統で、こういうものがあるから是非いなべ市に来てと言えるものがあればよいなと思います。私も60数年、いなべ市に住んでいて、それを言うことができないのは情けないなと思います。アンケート結果で、自然が好きというのがあったので、それをまちづくりのメインにして取り組んでいくということはよいのですが、それと合わせて、文化や伝統も両輪として、取り組んでいくことが、「好き」になる大事なポイントではないかなと思いました。今回は、自然を中心にやっていくってことで結構だと思っただけですけども、伝統や伝承、文化、いなべ市にはこんなものもあるんだということ、子どもたちや大人が胸を張って言えるいなべ市になっていくといいなと思います。私も少し勉強不足ですし、いなべ市に対する愛情が足りないのかなと思ったりもするのですが、いつも家族でいなべ市の文化って何やらねと話しているという状況です。でも、細かいことを注意深く見ていけば、いっぱいあると思うし、好きになったり、プラ

イドとして誇れるものはいっぱいあると思うので、その辺りの掘り起こしをしっかりと、子どもたちや、住民に伝えていくと、もっともっと好きないなべ市になるのではないかなと思いました。

【丸山会長】

- ・まず1点目の高校生アンケートについてお願いします。

【事務局】

- ・高校生アンケートを行う前にワークショップを開催しましたが、そのワークショップが少し難しい内容となり、ワークショップが終わった後に、アンケートを依頼しましたが、思った以上にアンケートに回答してもらえませんでした。ワークショップの難しさによって、高校生がアンケートに答えようとする方向に進まなかったのかなと思いましたので、次回以降は、ワークショップの内容を工夫するとともに、アンケートの回収もワークショップ内で行う等、工夫したいと思います。

【丸山会長】

- ・ありがとうございます。あえて答えていただきましたが、今回は少し失敗したんですね。これを反省として、きちんと記録に残して、市全体でこれから同様のアンケートをやる時は、そういうことも踏まえて回収率のアップを図るということをお願いします。それから、歴史文化は、たくさんの物があるのだらうと思います。それを発掘して共有することは私も大事なことです。いなべ市には城跡等、色々な歴史、文化があるので、それを自分たちの宝だと市民が認識し、まちづくりに活かせるようにするために、どう仕掛けていくかということも一つの施策として検討していただきたいです。

【林副会長】

- ・私は他の自治体の総合計画にもいくつか関わっていますので、そうしたことも踏まえてお話ししたいと思います。まず、本日の会議で意見が多かったのはその通りで、わかりやすさというのは必要だと思います。市民の方にできるだけ読んでいただくということを考えた場合、やはり、文章量が多すぎると感じます。歴史の部分だと、多分1つの固まりで1,000文字ぐらいあたりするのではないのでしょうか。最終的にはデザイン編集でカバーされる部分もあると思うのですが、なるべく小さい単位で、必要なものを厳選し、かつ端的に、ご説明をいただくように意識して文章等を作っていたらいいのかなというのが1つです。それから、先ほどご意見が出ていましたが、日進市や光市等、いろんな自治体でマンガの総合計画を出しています。もちろん、お金を使って専門の業者で制作する場合もあると思うのですが、大学生や高校生のクラブ等で作っていることもあるようですので、他市の事例等を確認いただいて、漫画版の総合計画のようなものを作っていただくのも1つの手かなと思います。あとは、課題のところ、資料の19ページから10項目が並んでいますが、例えばDX等、前段に全然出ていなかったことが出てきて、流れがつかっていません。最後の第4章が最も重要になると思いますので、そこまでのつながりがわかりやすくなるようにするとよいと思います。ひょっとしたら、次の基本目標とか基本計画につなげるために、頭出しをしているのかもしれませんが、今だと10項目あり、1項目がすごく短くて、かつ、横文字も使われているので、非常に読みにくい状況です。この辺りの整理の仕方も改善いただけると、より読みやすくなりますので、ご配慮いただけないかなと思います。

【丸山会長】

- ・概要版を作るにあたっては、今、ご指摘いただいたように、わかりやすいようにしていただくことが大事ですし、計画の全体が見えやすいということも大切です。文章が長いという部分や全体のつながりについても調整して、文章が多くても読みやすくしなくてはならないと思いますので、本編と概要版とを使い分けながらわかりやすく整理して下さい。それでは、次回は計画の基本フレーム、政策の大綱、ということになりますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

4. 次回の会議について

【事務局】

- ・本日いただきましたご意見等は、計画の進捗状況とあわせて議会へ報告をさせていただくとともに、市のホームページでも公表させていただきます。次回の会議は、11月6日、水曜日、午後午後2時から、こちらの会場で開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。

5. 閉会

その他事項

- ・無し